

閲覧席

様々なタイプの閲覧席があり、目的に応じて利用できます。



喫茶室

ケーキが評判で気軽にランチが楽しめる赤レンガカフェ「アトリエ・ド・リープ」のほか、お弁当や飲み物を持ち込み、飲食ができるフリースペースがあります。



1階トイレ

滞在型図書館にふさわしいトイレです。



雑誌コーナー



一般書架



閲覧席

光あふれる窓に面した閲覧席がたくさんあります。



- 総合カウンター
- 自動貸出
- 返却カウンター
- PCコーナー
- 喫茶室
- 避難口
- エレベーター
- 資料検索機
- 冷水器
- 公衆電話

番区ご案内

- 1番区** 0類 総記(図書館・百科事典・ジャーナリズム)  
1類 哲学(心理学・倫理学・宗教)  
2類 歴史(伝記・地理)  
8類 言語  
多文化言語資料  
地域資料  
地図架
- 2番区** 3類 社会科学(政治・法律・経済・教育)  
4類 自然科学(数学・物理学・医学)  
5類 技術(工学・工業)  
6類 産業(農業・園芸・商業・運輸・通信)  
展示コーナー
- 3番区** 7類 スポーツ・娯楽・暮らし(59 家政学 生活科学)  
お知らせコーナー  
9類 文学  
雑誌(女性向)
- 4番区** 7類 美術・音楽・演劇  
YA(中高生世代)
- 5番区** 雑誌・新聞  
CD・DVD
- 6番区** 公開書庫

一般書架



パソコン席

インターネットやオンラインデータベースが利用できます。また、持込のPCをインターネットに接続できる席があります。



北区の部屋

「北区のことなら何でもわかる」、北区の情報を集めた部屋です。北区のアンバサダーの常設展示のほか、北区に関するさまざまな企画展を開催しています。



研究個室

研究・調べ物を行うことができる個室です。個人用とグループ用があります。昇降式の机があり、車イスで利用できます。



自動貸出機

資料貸出を簡単な操作で行うことができます。(DVDなど一部資料は除く)



総合カウンター

図書の貸出・返却・予約、利用者登録受付、資料の案内などの総合窓口です。



公開書庫

開架書架に収めきれない貴重な資料を自由に利用できます。雑誌のバックナンバーや新聞の縮刷版などがあります。



対面音訳室・サポート室

視覚障害者向け音訳資料や昇降式のテーブルで読書ができます。近くに拡大読書器や障害がある方優先の閲覧席があります。



読書テラス

開放感あふれたテラスで読書が楽しめます。



CD・DVDコーナー

クラシックやポップス、子ども向けのCDのほか、映画やアニメ、教養などのDVDがあります。CD専用試聴機もあります。



- カウンター
- 自動貸出
- 授乳室
- おむつ替えベッド
- 冷水器
- エレベーター
- 資料検索機
- 避難口

おはなしのへや

本とおして、楽しいひと時を過ごしていただくために定期的におはなし会を開催しています。ゆったりと本を読むスペースとしても利用できます。



児童書架

絵本、子どもの本、紙芝居、布の絵本をはじめ、子どもの本に関する研究書などがあります。



エレベーター

避難口

ホール

講演、講座、研修、映画会などを開催します。



閉架書庫

利用度が少なく価値のある資料などを保管しています。



区民活動コーナー

区民の方々と協働して図書館活動を行うスペースです。



録音室

視覚障害者向け資料として、音訳資料を作成しています。



読書テラス

開放感あふれたテラスで読書が楽しめます。



展示コーナー

ガラスの壁の下を利用した展示コーナーです。



駐輪場

バイク駐輪場もあります。



子育て情報支援室

赤ちゃんやお子さん連れでも、気兼ねなく利用できます。授乳室、給湯設備を完備し、赤ちゃんの飲食ができます。保護者同士の情報交換の場としても最適です。



駐車場(有料)



返却ポスト



平成20年6月28日(土)に開館しました。

午前10時から始まった式典には多くの来賓が集まり、テープカットが行われました。イベントでは区民オーケストラの室内楽や小学生のブラスバンドの演奏があり、華やかなオープニングとなりました。2日間で約15,000名の方々が来館しました。



“区民とともに歩む図書館をめざして”  
実現する3つのコンセプト

◆「利用者が主役」の図書館

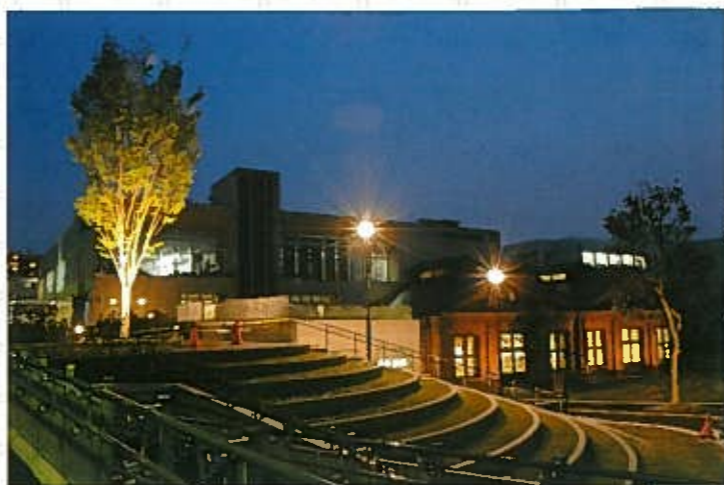
目的に応じた明快な図書館。ワンフロアで全体が一目でわかる利用しやすい空間。長時間滞在への配慮や誰にもやさしい図書館。

◆「永く愛される」図書館

明るく親しみやすく、時間とともに風景になじむ建物。成長と変化に対応できる施設。

◆「区民が活動する」図書館

区民の図書館活動への参加を促す協働の拠点。



赤レンガ図書館



昔の赤レンガ倉庫  
[東京第一陸軍造兵廠十条工場跡(自衛隊十条駐屯地)  
(昭和35年頃、「武器補給処三十周年記念アルバム」より転載)]



建設以前の赤レンガ倉庫

“ユニバーサル  
デザインの採用”

段差のないフロア、車イス等の方も利用しやすい  
高さの書架や机、トイレがあります。

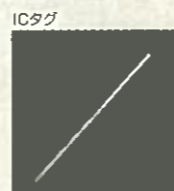
- ◆ 一般開架(壁面除く)は、高さ約1.5mに統一し、書架間も車イスと人が行き来できる幅になっています。
- ◆ 図書を利用しやすいように1階の書庫を公開形式にしています。
- ◆ 全ての方が使いやすい「誰でもトイレ」を設置しています。
- ◆ タッチパネルで簡単に検索できる資料検索機(OPAC)や自動貸出機を設置しています。



“ITの活用”

世界初となるムーチップ型ICタグ(2.45Ghz)を採用、  
蔵書管理の効率化を図りました。

- ◆ 図書館資料に貼付し、自動貸出サービスの実現や未貸出資料の検知を行っています。
- ◆ 書架1段に並ぶ約50冊を5秒程度で読み取ることで毎日点検することができ、蔵書点検に要する休館がなくなりました。



“環境への配慮”

省エネルギー化など環境への取り組みを行っています。

- ◆ 太陽光発電パネルを設置して、施設内の電力の一部を補っています。
- ◆ 屋上を緑化し、施設の屋根や壁面の温度の上昇を抑えています。
- ◆ 雨水を利用し、水洗トイレや植物への散水に使用しています。



施設概要

敷地面積	5,725.19 m <sup>2</sup>
建築面積	2,699.21 m <sup>2</sup>
延床面積	6,165.25 m <sup>2</sup>
構造規模	鉄筋コンクリート造 地上3階 駐車場22台 駐輪場300台
総座席数	500 席
太陽光発電	10kW

設計 株式会社 佐藤総合計画

施工 建築工事: 安藤・佐伯・高橋建設共同企業体  
電気設備工事: 北電機工事・東恵工業建設共同体  
給排水衛生設備工事: 株式会社 石井設備工業  
空調設備工事: アネス・ヒラタ建設共同体  
昇降機設備工事: 三菱電機ビルテクノサービス株式会社

蔵書 最大所蔵可能数(基本計画)

図書	最大所蔵可能数
一般書	275,000
参考図書	50,000
地域資料	50,000
YA資料	25,000
国際図書	25,000
児童書	75,000
500,000	
逐次刊行物	新聞 50 雑誌 300
視聴覚資料	CD 15,000 DVD 5,000 ビデオ 1,000

図書館内で見ることが出来る赤レンガ倉庫



外壁



ラチス柱



ラチス柱の基礎



鉄骨トラス



図書館の外側

図書館開館までのあゆみ

- 昭和63年2月 第二次北区基本計画において計画化
- 平成12年3月 北区基本計画2000において計画事業化
- 平成16年3月 新中央図書館基本計画策定
- 11月 基本設計候補者(株)佐藤総合計画をプロポーザルにて選定、契約
- 平成17年3月 基本設計完成
- 平成18年3月 実施設計完成
- 7月 建設着工
- 平成20年3月 建物完成、引渡し
- 3月30日 (旧)中央図書館(王子3-22-3)閉館
- 6月28日 (新)中央図書館開館

この図書館の愛称である「赤レンガ図書館」とけやきのシンボルツリーは、区民や利用者の皆さまのアンケートにより選ばれました。

赤レンガ倉庫について

赤レンガ倉庫は、北区の近代産業の歴史や当時の建築技術を知る上で貴重な建造物です。ガラスを取り入れた近代建築と融合し、中央図書館の一部となって生まれ変わりました。

建物名	東京砲兵工廠銃包製造所 (旧陸上自衛隊十条駐屯地275号棟)
用途	工場・倉庫
建設年	1919年(大正8年)
構造・階数	レンガ造・平屋建
内間柱	鉄骨ラチス造
小屋組	鉄骨トラス造

明治38年(1905)、当時、小石川(現・文京区)にあった東京砲兵工廠銃包製造所が、日露戦争による弾丸不足を補うために、ここ十条の地に用地を求め、工場を拡張させて移転してきました。そして、大正8年(1919)、弾丸鉛身場として建設されたのが、この赤レンガ倉庫です。その後、日本陸軍の編成替えにより組織の名称は次々と変わり、昭和15年(1940)には、東京第一陸軍造兵廠第一製造所となりますが、終戦にいたるまで、この地で小銃や機関銃に用いる弾薬や薬きょう、火薬類の製造が行われていました。

昭和20年8月に戦争が終わると、第一製造所の諸施設はアメリカ軍に接収されてTOD(東京兵器補給廠)第4地区となり、主にアメリカ軍の戦車整備工場となりました。そして、昭和33年にその一部が日本に返還されると、翌34年には陸上自衛隊が入所し、武器補給処十条支所として活動を始めます。

その後、防衛施設再編計画にともない、赤レンガ倉庫を含む一部が北区へと移管され、平成20年(2008)に北区立中央図書館に生まれ変わりました。